

2013年7月号 Vol.36 (2013年7月1日発行)

せんしゆん



ISO9001:2008認証取得
日本医療機能評価 (Ver.6) 認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



写真提供：七岡内科医院 七岡 聖魏 先生
向日市 鷄冠井町付近 ひまわり畑

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

TOPIX 7月1日より「在宅支援外来」がはじまります！

— 通院が困難な方も医療サポートで安心 —

「在宅支援外来」は「在宅医療」に関する相談窓口です

「在宅での治療や療養に不安がある」「訪問診療を受けたいが…」など、皆さまの様々なご相談に **在宅診療専属医** が応じます。安心して「在宅生活」を送っていただけるよう支援致しますので、お気軽にご予約下さい。

診察日時

月曜日 午前診 **予約制**
担当医：岡山 容子先生（訪問診療）

お申し込み
千春会病院(代表) ☎(075) 954-2175
★ご本人以外の方のご相談も応じます(無料)

在宅医療の相談窓口 「在宅支援外来」開設にあたり

救急指定病院である千春会病院には、日々さまざまな患者さまが救急で搬送されてきます。その中には、「もう少し医療へのアクセスが良ければ、救急車で搬送される事態は未然に防げたのではないだろうか」と思われる患者さまもおられます。

病状の重い方などは、どうしても通院が困難になりがちで、医療というものを十分に活用しないまま、さらに病状が悪化していくという悪循環に陥っていくのではないのでしょうか。

私たちは、ただ外来で来院される患者さまを待つだけでなく、通院が難しい方々にも医療サポートを行っていく必要があると考えます。

そこで、千春会病院では、さまざまな理由で通院困難な患者さまが、ご自宅でも適切な

医療を受けられるよう「在宅支援外来」をはじめることといたしました。

ご本人さまの来院が難しい場合は、ご家族さまだけでの来院、ご相談でも結構です。

「在宅支援外来」では、「訪問診療」等を中心とした在宅でのより良い医療、療養をご一緒に考えることで、みなさまのQOL(生活の質)向上を目指していきます。

千春会には、病院を中心に「老健施設」をはじめ「サービス付き高齢者向け住宅」「通所・入所サービス」「24時間対応の訪問介護看護」など多数の介護事業所を有しており、「医療と介護の融合」による在宅支援で、さらなる安心を提供してまいります。



副院長 在宅診療部長
糸井 真一 先生

訪問診療専属医 2名 担当医 4名 による充実の訪問診療



一言メッセージ

充実した「在宅医療」体制で、皆さまをしっかりとサポートできるよう頑張ります！



在宅診療部副部長：今林 伸康 先生



一言メッセージ

ご家族さまだけでも、ご相談ができますのでお気軽にお越し下さい。



在宅診療部副部長：岡山 容子 先生

7月1日より「腹水外来」開始

「腹水濾過濃縮再静注（KM-CART）」を行う
「腹水外来」開始のお知らせです。

診察日時：火曜日 14：00～16：30 予約制

「腹水」で
不自由や苦痛を感じておられる方は、
ぜひ、外来受診を！

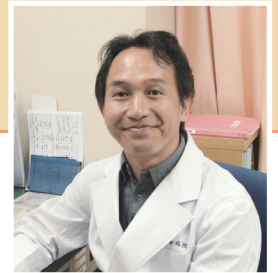
- ◇「腹水」でお困りの方
- ◇「お腹がはって苦しい」
- ◇「歩けない」
- ◇「圧迫感で食事ができない」など

当院で「腹水治療」をはじめて1年。

以前から「KM-CART（新しい腹水濾過濃縮再静注）」という「腹水治療」
に取り組んでこられた担当医の高垣 伸匡先生（内科）に伺いました。

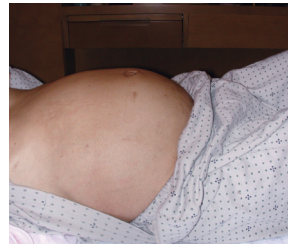
これまでの約1年で、22名の腹水患者の方々に85回の治療を行いました。
ほぼ全員の方が癌性腹膜炎による腹水で、中には、腹水に悩み、病院を転々と
する『腹水難民』といわれている方々もおられ、そのサポートも行ってきました。
ガン末期の方にとっては、腹水の苦痛から開放され、自分で食事をして過ごせ
ることは何よりも大切なことです。

「腹水を全量抜いて全量処理して点滴で戻す」
という大胆な方法ですが、大きな問題もなく、
「KM-CART」後は、腹水による腹痛がなくな
り、食べられない方も食事量が回復しますの
で、術後1～2週間快適に過ごせます。腹水で
お悩みの方は、お気軽にご相談ください。



担当医
高垣 伸匡 先生（内科）

治療前



治療後



日々の成果 13演題を堂々発表

今年も「京都病院学会」開催にあたり、千春
会からは13演題を発表いたしました。

発表にあたっては、日々の取り組みや成果を
充分発表できるよう、理事長、院長、医師、コ
メディカル、事務担当などがチームとして関わり、
何度も精査を行い法人全体でサポートしま
す。さらに本番さながらの予演会で、詳細な検
討を行い、精度を上げて当日を迎えます。

当日は各会場で「在宅支援」「緩和ケア」「腹
水治療」など13演題について、医師、看護師、
透析センター、リハビリ科、検査科、放射線科、
栄養科、医事課、管理部などから発表がなされ、
活発な質疑応答もありました。



菊地理事長（中央）藤原院長（中央左）を囲む演者達

演者たちは、理事長、院長はじめとする多く
の法人職員の応援に励まされ、無事、発表を終
了いたしました。

これからも「医療と介護の融合」を目指し、
しっかりと方向性を持った成果発表ができるよ
う、さらにチームワークで研鑽してまいります。

いつまでもご自宅で過ごしていただくために

「病院で」「施設で」「訪問で」途切れることのないリハビリを提供

千春会では、ご自宅でいつまでも生き生き暮らしていただけるよう、「病院」「老健施設」「デイケア」「デイサービス」「訪問リハビリ」などが連携した充実のリハビリテーションで、365日切れ目なくサポートしています。

病院リハビリ (外来・病棟)



連携パスでの受入れにも積極的です。

病院・老健・施設から ご自宅へ

連携してサポートします

老健リハビリ



約3ヶ月の入所期間にリハビリをしっかりと行い在宅復帰を目指します。

リハビリで 退院・退所後も 安心！

「デイケア」「デイサービス」「訪問リハビリ」などが連携することで、ご自宅でも安心してリハビリを継続することができます。また、ご自宅で身体機能に不安を感じたら、病院や老健を利用して、ご自宅での生活機能の継続を目指していただけます。

退院前訪問指導



セラピストが退院する前にご自宅の環境を確認してアドバイスします。

訪問リハビリ



暮らしの環境に沿ったリハビリを提供します。

施設でのリハビリで機能維持

デイサービスセンター 「無理なく、楽しく、心地よく！」

リハビリ機器の充実したデイサービスでは、セラピストやフロアスタッフが「筋力やバランスの向上プログラム」を身体能力に応じて行っています。



デイサービスセンター 滝ノ町(2F)

法人内の他のデイサービスでも積極的にリハビリに取り組み「転倒予防」などにつなげています。

介護老人保健施設「春風」内

デイケアセンター

そよ風
あお空
せせらぎ

一日の日常生活を通じたリハビリや午前・午後、集中的にリハビリ機器を活用するリハビリテーション、また「認知症対応型」は少人数でのリハビリを提供します。



評価中のセラピスト

「あお空」では、午前と午後にセラピストによる評価に基づいた適切な運動をおすすめしています。

充実のリハビリでサポート

病院リハビリ

リハビリ科、セラピスト **39** 人による
手厚いサポート体制

- ★理学療法士 27 人
- ★作業療法士 6 人
- ★言語聴覚士 6 人
- ★歯科衛生士 2 名
- ★マッサージ師 1 名
- ★助手 3 名

千春会病院では、患者さま 1 名につき、1 日に 3 時間以上のリハビリが提供できるセラピスト人員を確保し「在宅復帰」に取り組むと共に「病院」から「在宅」や「施設」へつなげています。

また、基幹病院からは、整形外科疾患や脳卒中等の患者さまを「地域連携パス」で、積極的に受け入れています。

また、セラピストは「病院」「老健施設」「訪問リハビリ」全てに関わる「ジョブローテーション制」により、高いスキルを身につけていきます。



老健リハビリ

介護老人保健施設 春風（在宅強化型老健）

セラピスト（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）はじめ、介護スタッフ、管理栄養士、相談員、医師、看護師などが共に関わり、連携を密にして、一日も早い「在宅復帰」に取り組んでいます。

※医療措置の必要な方（経管栄養、人工呼吸器、吸引、透析療法など）も積極的に受け入れています。



職員全員で取り組む「在宅復帰と チームアプローチ」

言語聴覚士や管理栄養士などが摂食や嚥下（飲み込み）評価を行うなど機能向上に関わり、栄養サポートチームとして低栄養の改善や口から食べていただけるよう取り組んでいます。（経管栄養からの離脱も推進）



リハビリ科と介護スタッフによる「介助法検討会」などを定期的に行い、知識と技能の向上をはかり、リハビリと日常生活訓練を連携させ自立への支援を効果的に行います。



介護老人保健施設 春風は 在宅強化型老健として 高い「在宅復帰率」50%以上を継続！

厳しい要件を満たし、「在宅復帰・在宅支援機能が高い」と認められたものが「在宅強化型老健」です。「介護老人保健施設 春風」のように「在宅復帰率 50%以上」を継続している老健は数少なく、全国平均 5%となっています。（日経ヘルスケア 2013.5 より）

H25 年 春風 在宅復帰率実績 (春風からご自宅へ)	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
	81%	68%	70%	78%	77%



多職種による検討会

1 歳時記

滝ノ町自治会主催「ふれあい文化サロン」で千春会が講演

「転倒予防」について — 転びにくく 転んでも骨折しにくい身体を目指す! —

滝ノ町自治会より、介護予防についての講演依頼があり、勤務終了後の19時30分から、リハビリ科理学療法士の川上統括主任とデイサービスセンター滝ノ町の瀧本マネージャーが「転倒予防」という観点から自治会館で講演しました。

まず、看護師でもある瀧本マネージャーが「なぜ転倒するのか」「転倒しやすい場所は」など楽しく講演。さらにゲーム感覚で数字をつなげる「注意力チェック」や歩行チェックに参加していただき、川上理学療法士が家庭でできる転倒予防の簡単なトレーニング方法を披露。



講演中の瀧本マネージャー (看護師)



ヒザの痛みへの対処法を実演指導するリハビリ科川上統括主任

…地元のみなさんとともに



2 歳時記

ワクワク・ドキドキの職場体験

チャレンジ神川 京都市立神川中学校
今年も6名が病院と介護部で体験しました。



千春会病院 看護部
介護老人保健施設 春風
デイサービスセンター 滝ノ町

- ★忙しいのに、一人ひとりを大切にしているのがすごい。
- ★ハンドベルや体操など一緒にして楽しかった。



お姉さんナースと共に

4 歳時記

530 (ゴミゼロ) 運動に参加

千春会では、毎年長岡京市が推奨する清掃活動に参加。今年は、さらに職員の参加者が増え、病院周辺や JR 長岡京駅前などを清掃しました。これからも日々の清掃を怠らず、周辺美化に努めます。



清掃に参加する職員

3 歳時記

新しいCTを導入しました! 16列マルチスライスCTスキャナ(Alexion)

患者さまにやさしく、安心していただけるCT検査で「早期発見」「早期治療」を!

「10秒程度の息止め」で検査が可能となり、一度に全身を短時間で撮影できるようになりました。さらに自動調整により、最適なX線量で撮影できますので、被爆線量も大幅に低減でき、患者さまの負担を軽減して検査することができます。



編集後記

まっすぐに顔をあげて太陽に向かう、夏のひまわり。熱い陽射しを自らのエネルギーに変えて、次代の「種」を育てていきます。千春会も、しっかりと高みを目指し、全職員の熱い想いを「力」に、次代につながる事業で貢献してまいります。まっすぐに顔をあげた清廉な法人として…。(弘) 表紙写真…

元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615